

ショーン コリガン



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes

「はじめまして！」

Nice to meet you! ショーン・コリガンと申します。北秋田市に在住している29歳のアメリカ人です。私の経験や考えを通して「私が見た北秋田」を紹介したいと思っています。

私はアメリカの北東部にあるニューハンプシャー州出身で、北秋田市には小・中学校で英語を教える「JETプログラム」の参加者として2010年8月に初めてやってきました。

5年間をありがたく頑張らせていただき、現在は市教育委員会に所属し、市の外国人英語教師の指導や、北秋田市のグローバル化などに努力しています！

趣味は様々ありますが、1番はもちろんアルペンスキーです。森吉山の山頂でしか味わえない自由感は素晴らしいです。

スキーをした後、打当温泉での入浴も最高なものです！

まだまだありますが、残念ながらスペースが限られています！これからも、趣味などについていろいろ書きたいと思いますので、ぜひまた読んでいただければと思っています。よろしくお祈りします！



北秋田市地域おこし協力隊 コラム Vol.4

みなさま、蒸し暑い日々をいかがお過ごしでしょうか。水分をしっかりとって熱中症等にはお気を付け下さいね。私は最近、暑さにも負けずに「THE 北秋田市」を満喫するべく、屋外バーベキューばかりしているような気がします(笑)。北秋田市で育った牛・豚の焼き肉、ホルモン、岩魚、鮎、北秋田市採れの豊富な野菜たち、どれもこれもここに住んでいる故の贅沢ですね。まだまだ色々な方法で満喫したいと思います。

そして先日、大阿仁公民館短期講座「料理楽講座」に参加し、たくさんある北秋田市の食材の中から「阿仁ふき」「赤みず」を使って、普段とは違う料理にチャレンジしました。今回は、料理研究家の木元千恵子さん(仙北市)を講師にお招きして開催されました。

木元さんは、いつもは煮物や漬物にしか使わない山菜を、イタリア料理やオシャレな盛り付けで大変身させてしまうのです！これには講座に来たみなさんビックリしていました。これも新たな視点ですね。私もいつか、こんな講座が開けるように頑張ります！



「料理楽講座」大成功！

● Facebook、ブログもご覧ください ●



Facebook→



ブログ→

〒018-4301 北秋田市米内沢字七曲23 ☎72-5243
北秋田市地域おこし協力隊 九島 千春

北秋田市民病院

『地域包括ケア病棟』を開設

安心して在宅復帰できるように支援します！



北秋田市民病院の4階西病棟の『療養病棟』48床を『地域包括ケア病棟』として開設しました。このことにより、集中した治療や手術などを終え、病状が改善・安定したものの、退院に不安のある患者さんが、必要な医療は継続しながら、在宅復帰に向けたリハビリや各種手続き支援などのサービスを利用することにより、円滑かつ安心して在宅復帰ができるようになります。



『地域包括ケア病棟』とは

「在宅復帰支援を行う」病棟として「地域包括ケア病棟入院診療計画書」に基づき、必要とされる医療は継続しながら、在宅復帰に向けて以下の医療・サービスを提供します。



具体的な医療・サービスの内容は？

看護師の配置が療養病棟より手厚くなります

専従の理学療法士の配置

入院中に運動機能が低下した方へのリハビリテーションを実施します

専任の社会福祉士

介護が必要とされる方への介護保険申請手続き等を支援します

自宅退院が困難な方に対する施設入所に向けた各種手続きの支援をします

急性期入院から地域包括ケア病棟～退院までの流れ

一般病棟などでの急性期治療
手術や集中的な治療



病状が軽快・安定した状態

在宅療養への不安がある

退院

地域包括ケア病棟入院
在宅復帰への準備
リハビリなど

Q&A

Q. 自己負担額は増えませんか？

A. 入院費などの自己負担については、負担上限が一般病棟と同じで、現行とほぼ変わらない見込みです。詳しくは、北秋田市民病院の担当にご確認ください。

☎ 北秋田市民病院 ☎62-7001 (代表)